





# 制限外の大速力で

## トラツク轉覆大破

### 下敷き運轉手頭部粉碎

#### 同乗の三名も夫々負傷

小名濱町字船引揚場自動車業者運賃金次郎方運轉手鈴木仙吉(三)は本廿六日午前八時頃空トラック福島一九八〇號に小名濱の魚商志賀惠太郎(四)同中山春吉(五)杉原安雄(六)の三君を同乗し内郷村大字御蔵字久世原地内國道を制限外の速力で疾走中運轉を誤り傍らの堤に乗り上げて轉覆、鈴木運轉手は車外に放り出されて下敷となり頭部を滅茶々に粉碎されて虫の息、他の同乗者三名も夫々負傷し平町植田外科に收容されたが運轉手は生命危篤であると

# 物々しい 警戒裡に

## 仁義事件公判

### 鈴なりの傍聴人

植田町山田屋別館の仁義刃傷事件の公判は廿六日に平支部にて開廷されたがさすがに物凄事件だけに興味を唆られてか定刻前より傍聴人殺倒し中に大バスの分乗して到着の植田町の工事關係の親分格の傍聴人十數名あり、係警官の嚴重な身體検査の上公判廷へ雪崩れこんだが、窓外にも警戒裡の傍聴人で物々しい警戒裡に午前十時卅分、中島裁判長、小林、香西兩判事、白水検事、澤田書記、各辯護人着席、氏名点呼、豫審

## 鯉節製造

### 俄かに活氣

小名濱、江名等は鯉漁期に活劇と次第に最高潮に達したが一先づ正午休憩に入る

## 四時橋の 渡り初め

### 既報川部村地内工費二萬圓

既報川部村地内工費二萬圓の四時川橋は去る廿三日竣功したので協賛會を組織し来る廿八日午前十時より開橋式を擧げ更に十一時から同村劇場小川座に於いて盛大な祝賀會を開くと

## 錦村に劇場

### 錦村は昭和入組工場の繰業開始

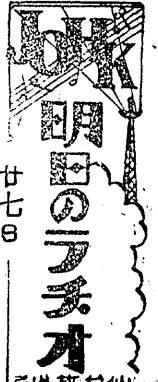
錦村は昭和入組工場の繰業開始と共に人口激増したが娯樂機關がないので同村消防組頭山崎登氏が發起で同村字中田に劇場錦座を建設する事となり此程出願の手續きを了した

## 裸銅線を

### 二百圓分

#### 機械夫が盗む

内郷村大字宮字竹ノ内居住磐炭機械夫山形市生れ伊藤



今日晩の部  
後六、〇〇 子供の時間  
お話「水銀橋本爲次」  
後六、二五 基礎英語講座  
岡倉由三郎  
後七、三〇 講演「北清事變中セーモア聯合陸戦隊の想ひ出」海軍少將宇佐川知義  
後八、〇〇 仙臺  
「山形大津繪」山形縣東根徳藏(二八)は昨年七月から坑内で三十餘回に亘つて裸銅線(時價二百圓餘)を窃取し

# ビール瓶で 頭を破る

## 加害者は二名

### 被害者も札付きの男

昨廿五日午後九時頃湯本町字八仙入山炭礦三村飯場内坑夫吉成清次(四)高根澤明(三)の兩君は泥酔しての歸途同町字裏町通りの暗がりに出會した内郷村大字宮字峯根磐炭礦圓屋合宿所内坑夫副島信春(三)の頭部を持つて居たビール瓶で殴打し骨膜に達する重傷を負はして平署に檢舉されたが原因は被害者副島は本月十五日頃迄加害者と同様に三村飯場で働いて居るうち食費を踏み倒して逃走したので豫てより行衛を尋ねて居た折柄の事としてこの傷害事件に及んだらしいと尙被害者

## 物乞ひの 腹いせ罰金

### 腹いせ罰金

東京市大森生れ住居不定無職田仲勤次郎(五)は去る廿日午後一時頃湯本町大字湯本字三函丹野時計店で物乞ひして断られた腹いせに同店の飾棚硝子戸二枚を携帶の櫻杖で破り器物毀棄罪で平區より略式罰金二十圓に處された

## 磐女生の頭上に 輕快な白い夏帽

### 輕快な白い夏帽

七月の炎天下に澤山の學用携帶品を持つ爲めバラッルも差せぬ生徒等の暑さに心やりから磐女校で通學生にマニラ麻製の輕快な白い夏帽子を來月一日からかぶらせる事となつた

## 阿康藥局擴張

### 古鍛治町阿康藥舖では今回明治藥學專門學校卒業後帝大附屬病院模範藥局で研究中であつた令息康雄君が自家營業に従事することになつたので目下藥局増設のため店舗改築中

## 平裁判たより

- △埼玉縣入間郡所澤町生れ住居不定無職強盜前科一犯石田久次(三)が去月中小名濱町沖見町計之助氏外數名より蘭、鉢植、靴下、匕首等を手當り次第犯取した事件は昨廿五日平區香西判事
- △農夫 三十才 半給百圓
- △女中 二十才 尋卒 月七七八圓
- △外交員 五十才 高卒
- △柏ヶ夫 四十才 日給五十錢
- △人夫監督 四十五才 高卒
- △事務員 三十才 帝大卒
- △女中 二十才 尋卒
- △火夫 三十八才 尋三修

上田醫院  
平町南町  
電話一九二番

明日の部  
前六、三〇 基礎獨語講座  
武内大造  
前七、〇〇 朝の修養「藤田東湖正氣歌」菊地謙二郎  
前八、〇〇 家庭講座「住宅の構造及び設備に對する衛生學上の要求」大谷佐重郎  
後八、〇〇 木曜コンサート  
吹奏樂 序曲「印度の女王」外 大阪市音樂隊  
後九、〇〇 小學生の時間  
國語「安倍川の義夫」鷺山さき  
後二、四〇 國語、ラヂオスケッチ「東京から青森まで」鈴木博  
後六、〇〇 子供の時間  
お話「高山彦九郎」栗野秀穂  
後六、二五 趣味講座「歌舞伎名優の苦行談」三木春雄  
後七、三〇 講演「六月に於ける明治天皇聖蹟」法學博士尾佐竹猛  
後八、〇〇 琵琶「龍の口」唐澤筑瑞  
後八、三〇 清元「助六曲輪菊」清元壽美太夫 三味線清元榮一  
後八、五〇 浪花節週間(第一日)「生きたる悲哀」東家樂燕



# 明治太平記

(續前編)

(作) 寺島証史  
(監) 野口 雄

第五百九十九回

洋妾餘情 (四)

兄に非業の死を遂げさした、その毒牙を今度は妹に向けやうとしてゐるウエルズだ。パークスの來ぬまに暴力をもつて自分を自由にしてみよふのだ。

おとわは次第に身に迫るウエルズの暴力を感じた。しかも暴力は男のあまい情熱のかたちをあらはして迫つて來る。

彼は巨きなけだもの、香のする左手をおとわのなで肩にまいて、愛慾の溜息を吐きかけた。

「おとわしやん。わたくしの心察して下しやい、おとわしやん」

「……」  
おとわはけだもの、手を振拂はうともせず、血の出るほど下唇を噛むだ。

「おとわしやん。わたくしあなたを思ひこがれて、どんなにお惱の目をおくつて來たことでせう。おとわしやん、わたくしを可愛想な男だと思つてくだしやい」

ウエルズのあぶらくさいくらびるがおとわの唇を求めて來た。

「いけません」  
おとわは苦しく低聲で叫んだ。

「い、え、大丈夫です。パークスしやん仲々戻つて參りません、パークスさん新しい愛人おふくしやんと」  
「悪魔！」  
と、彼はふたゝび襲ひ掛つた。



今頃どこかでたはひれて居ります。どうぞおとわしやん、その間にわたくしを愛して下さると只一言仰しやつてくだしやい」  
暴力は今やじわ／＼とおぶら臭いくらびるの上にあらはれた。更に右手をのべて、おとわの上半身を抱きすくめ長椅子の上へ押しした

「え」  
「……」  
かたき……と、口のうちに叫んで身をひくと同時に帯の間にはさんだ懐剣の鞘を拂つた。  
それを逆手に握つて、女ながらも雄々しく身がまへた。その凄艶といつた美しさ……

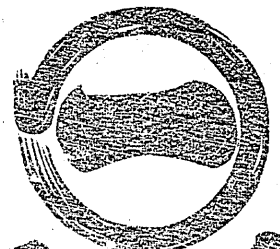
ウエルズは見とれた。パークスに心中立てするらしやめんおとわの純情だと誤認したのだ。  
「おとわしやん、あなたはそれ程パークスを……」  
その純情こそ自分の求めてやまぬものだ……とはいはぬが彼は懐剣を握つて見がまへたおとわの凄艶……と云つた姿に、ローマンチックな感情をいよいよ深めた。

▽廣告  
告△

## 力ヒ焼

新發賣

## 産雲丹みそ



魚屋

最優最盛 命代店 丁目 (三二電)

市原醫院

平町・田町  
電話一四四番

専門 産科 婦人科 花柳病科  
入院隨意

井坂醫院

平町田町 電話五五九番

体温計の検査日です  
10日 検査新 設置 お宅の体温計は?

◎確な体温計を御使用下さい  
◎毎月十日の検査日御利用下さい

度量衡 指定販賣人 西村屋藥局  
計量器 平・二電三番

磐城セメント會社特約店

久全屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九  
□良品廉賣に勝る商略なし  
□確實敏捷は 〆の生命なり

遊覽團體募集

一日歸ノ部

柳居津虚空藏尊(猪苗湖)東山白虎除廻り

出發 六月二十八日 午前三時  
會費 往復自動車賃 貳圓也

日光 (笠間稻荷様廻り日光六時休憩)

出發 七月二日 午前一時  
會費 往復自動車賃 貳圓五十錢

一泊ノ部

三原山 東京市内各所遊覽

出發 七月十日(午前五時)

會費 拾貳圓(但宿泊料汽船料及一切含ム)  
(各車共定員二十二名、定員未滿ノ節ハ勝手作ラ)  
(延期スル事モアリマス)  
其他御希望ノ各種團體ニモ應ジマス

尼子自動車商會  
遊覽部

電話六四〇番